

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：H31年3月27日

事業所名：障害児通所支援 INGENU

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは確保されており、遊具や布団も必要に応じて出せるよう準備している	はい:10 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2 ・スペースが広くなり子どもが喜んでいた	概ね現状のスペースに満足される方が多かったが、児童がまだ少ないときに見学したり、利用中に見学されること自体がない保護者の方もおられるため、時々利用中に見学をしていただけるような機械を作っていく
	2 職員の適切な配置	必要な職員は常に配置されており、理学療法士も常勤にて常駐している	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	肢体不自由児が多いこともあり、見学などでよく「いつもスタッフが多いですね」とおっしゃっていたため、今後も十分なスタッフでのデイサービスを維持していけるように努める
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	フローリングをカーペットや畳に変更しており、角にはコーナーガードを設置しているものの、まだ改善が必要な段差などは存在している	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	特に今まで構造についての意見をいただくことはないが、スタッフ間での設備の改善点はあるため、今後も満足していただけるよう適切な整備を行っていく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	タオルは毎日洗濯するなど常に清潔を保つよう徹底しており、活動に合わせて広いスペースをすぐに作れるような環境づくりを行っている	はい:9 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:3	今後も掃除を徹底し、常に施設内を清潔に保てるように努める
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	スタッフの動きや支援内容が、児童一人ひとりの目標設定と合致しているかを自然に話し合える環境を作っている		スタッフ間で児童達のことを話し合う機会をさらに増やし、お互いが療育や目標設定について意見を出し合える環境づくりを目指す
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在はまだ実施できておらず、今後第三者に介入してもらい、評価していただけるよう努める		正式に依頼などはしたことはないが、少しずつ外部からの見学者も増えているため、その時に雰囲気やどう感じたかなどの意見をいただけるアンケートを作成する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	児童に合った介助方法や関わり方を適宜指導しており、モニタリングの結果なども踏まえ、定期的に勉強会を実施している		スタッフ間での知識の共有だけでなく、外部への研修にも積極的に参加し、それで得た知識を共有し、研鑽をはかる
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	送迎時の保護者との会話や定期的なモニタリングにおいてその時に合った児童や保護者のニーズに沿えるよう計画を立案している		作成者だけで計画を立てるのではなく、立てる前にスタッフそれぞれから意見を聴取したうえで客観的に評価していけるよう努める
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童の特性に応じて個別での運動指導やリハビリテーション、集団での制作やプログラムを計画に組み込んでいる	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらともいえない」や「わからない」との回答もあった	個別での活動、集団での活動をしっかり分け、それぞれでの活動に対する効果をもっと活かせるように考えていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童に合わせて支援に必要な項目は変更しており、項目についての具体的な支援内容を記載し、説明している		否定的な意見はなかったものの、児童にとって必要な支援を再検討し、保護者にとっても具体的にわかりやすい内容を記載できるよう努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に沿ってデイサービスでの日常生活活動における適切な支援を実施している	はい:8 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:5	今後も計画に沿った適切な支援が行えるよう計画を見返しながら支援を実施していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月末、来月のプログラムをスタッフが相談しながら決め、利用児童に合ったプログラムを実施できるよう心掛けている	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらともいえない」や「わからない」との回答もあった	利用児童によってできるプログラムと難しいプログラムがあり、もっといろんな児童に対応できるプログラムが行えるようチーム全体で考える機会をふやしていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校への直接迎え、休日や長期休暇は保護者や本人の希望される時間に送迎できるように調整しており、利用時間に沿った支援(食事介助等)を実施している		利用児童によって利用時間が異なり、特に平日では短い時間での支援となる児童もいるため、短時間でも満足できるような支援ができるよう取り組んでいく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムがマンネリ化しないよう新しいスタッフに意見を仰いだり、同じプログラムでも違う方法で違う感覚が入れられるよう工夫している		概ね満足されている結果であったが、今あるプログラムだけでなく、新しいプログラムを行っていけるよう研修会に参加したり、意見を出しあえるような環境づくりを行っていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、支援終了後に次の日の利用児童の確認、バギーなどの準備や送迎担当を決め、当日にプログラムや制作の流れを確認している	役割分担は行っておらず、全スタッフが全児童をみられるように取り組んでいるが、満足する支援ができなかったこともあるため、当日の支援の流れを、常に全員が十分理解していけるように取り組んでいく	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に日報を書いている際に、気付いた事やどういう風に過ごされていたかを話し合うように努めている		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援計画や報告書を書く際に見直せるような記録を書くように努めている		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを行い、支援計画書や報告書を見直し、その時の状況に沿えるよう見直している	モニタリング後に十分保護者や児童の意見や希望を考慮したうえで計画書を作成していく		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議自体が行われたことがないため、参画できていない		現在はまだ担当者会議自体を行えていないものの、今後相談支援事業を開始していくにあたり、もっと深く児童についてを考えていく機会を作っていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケア児のてんかんや熱発等、急変時に対する対応等を学校と共通認識できるように保護者や先生を通じて行っている		定期的に嘱託医に来ていただき、不明な点等を逐一聞くようにし、また教育機関とも日々の状況について共有していけるよう送迎時や見学などでの関わりを増やしていく
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	吸引が必要な子どもに対して、主治医から喀痰吸引等指示書を依頼し、それに準じて看護師が医療的ケアを実施している		指示書や児童についての詳細を積極的に聞き、関わりを増やしていくことで、急変時にすぐに適切な対応をしていける、していただけるような関係づくりを行う また、入院時や手術等での変化やリハビリ内容などは退院時に書類にて保護者に持参いただき、スタッフが共有できるような関わりを作っていく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	当該事業所が多機能型であるため、児童発達支援からそのまま放課後等デイサービスに移行されることが多いため、共有する機会があまりないものの、紹介で来られる際は十分に情報を共有してから受け入れ等を行っている		外部の児童発達支援からの放課後等デイサービスへの移行を依頼される際に、円滑に移行し、児童にスムーズに当事業所に慣れていただけるよう
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ放課後等デイサービスから卒業した児童がいないため、実施できていない		今後、当事業所から卒業していく児童に希望に沿った事業所等、有意義な人生を送っていただけるように十分な情報提供を行える外部との関係づくりを行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	まだ研修には参加できていないものの、専門機関から紹介されたり、見学に来られることも増えてきている。		今後外部の施設から紹介される研修等を受講したり、当事業所から研修会などを実施していく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在はまだ実施できていない	現在はまだ実施できていないため、「いいえ」や「わからない」との回答が多かった	保育所や児童館などの見学を行っていき、交流していけるよう目指して行く
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域で開かれている餅つき大会などに児童達と参加し、協力していただいている	チェック項目に記載されていないため、回答なし	現在は毎年協力いただいている小学校での餅つき大会のみの参加であるため、もっと幅を増やし、地域のいろんな方との交流を深められるよう関わりを増やしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に利用者負担等どれくらいかかるかの説明を行い、モニタリングにて支援の内容の説明を行っている	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	アセスメント時や契約時の説明だけでなく、受給者証の更新による料金の変化や利用日数の変更等をその時に丁寧に説明していけるよう努める
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングで個別支援報告書の説明を行い、現在の学校や自宅での様子を聴取した後、その内容を参考に計画書を作成している	はい:12 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	スタッフ全員が計画書を十分に理解し、説明したうえで承諾を得られるように内容を共有していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在はまだ実施できていない	はい:5 どちらともいえない:1 いいえ:5 わからない:2	外部からの講師を依頼し、保護者を対象にした研修会を行っていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳にて保護者と児童の変化などを連絡し合い、日々やり取りを行っている	はい:12 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	その日支援した内容が保護者にしっかりと伝わるように連絡帳を記載し、スタッフによって記載内容に差が出ないようにする
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	当該児童だけでなく、その兄弟や姉妹の悩み等についても状況に合わせて助言や相談を行っている	はい:10 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:0	保護者からの相談をしやすい環境を作り、適切な対応や助言ができるようスタッフの知識の向上をはかる
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に一回以上保護者会を開催し、スタッフの紹介や保護者同士のコミュニケーションを図っている	はい:8 どちらともいえない:1 いいえ:2 わからない:2	まだ参加できていない保護者にも参加していただけるよう、保護者会の回数を増やし、保護者同士の連携だけでなく、スタッフと保護者との関わりを増やしていく
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情などに対応するマニュアルを作成しており、常時担当者を置いている	はい:7 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:5	苦情があった場合はマニュアルに従い、迅速で適切な対応を行っていく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	どんな保護者、児童にも伝わりやすいように説明するよう心掛け、伝わりにくいことでも何度も丁寧に説明するよう配慮している	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	アンケート結果に満足することなく、今後もより良いコミュニケーション、情報伝達を行えるように配慮する
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等は発行していないが、ホームページにてその日の活動や行事の写真を載せている	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	ホームページの更新を増やし、常にホームページを見ていただけるよう連絡体制をホームページを通してできるよう検討していく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に、個人情報保護に関する書類を説明した上で、署名・捺印をいただいている	はい:12 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	契約時の個人情報についての説明をより丁寧に明確にする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成しており、契約時に説明している。また、防犯訓練や感染症などに対する勉強会は年に一回以上実施している	はい:8 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:3	緊急時の対応については、統一した内容をスタッフ、保護者と共有し、感染症についても保護者の理解を十分に得、感染を予防できるよう徹底する
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	防犯訓練を年に一回以上行っており、避難場所の小学校に協力していただき、避難場所までの移動時間などをデータとして残している。	はい:6 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:7	利用日によって防犯訓練を行っていない児童もいるため、どんな利用日、利用児童でも速やかに避難できるよう防犯訓練を実施し、行った内容を利用していない保護者にも伝達する
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の研修に行った後、その内容を周囲のスタッフに伝え、検討などを年一回以上実施している。		今後も年一回以上の虐待防止研修を徹底し、知識を再確認したり、新しい知識を共有する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は一切行っていないが、もしもなければならぬ場合があれば十分に説明して理解いただけるよう徹底する		今後も身体拘束を行う予定はないが、もしもやむを得ない場合があった場合は、十分に保護者の理解を得てから行うよう徹底する
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在までの段階では、食事やおやつでアレルギーに対する指示書は出していない		今後アレルギーでの指示書が出た場合に備え、アレルギーに関する知識を増やし、適切に対応できるよう心掛ける
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	些細なことでもヒヤリハット報告書を記載するように徹底しており、会議の際に内容について検討している。		ヒヤリハット事例を増やし、アクシデントが起こる前に未然に防げるよう常に会議などで事例検討を実施する